

注) この RCT は日本東洋医学会 EBM 委員会がその質を保証したものではありません

10. 呼吸器系の疾患 (インフルエンザ、鼻炎を含む)

文献

西澤芳男, 永野富美代, 山田まゆみ, ほか. 風邪症候群患者に対する麻黄附子細辛湯と西洋感冒薬の咳嗽改善効果無作為比較検討. 漢方と免疫・アレルギー 2005; 18: 56-67.

1. 目的

風邪症候群患者に対する麻黄附子細辛湯と西洋感冒薬の咳嗽改善効果の評価

2. 研究デザイン

ランダム化比較試験 (RCT)

3. セッティング

病院 2 施設、診療所 4 施設

4. 参加者

感冒症例 1758 名

5. 介入

評価期間は 15 年間。

Arm 1: ツムラ麻黄附子細辛湯エキス顆粒 879 名

Arm 2: 西洋感冒薬 879 名

6. 主なアウトカム評価項目

各種自覚症状

7. 主な結果

各種項目で麻黄附子細辛湯が西洋感冒薬より効果があった。

8. 結論

麻黄附子細辛湯は風邪症候群に有効である。

9. 漢方的考察

なし

10. 論文中の安全性評価

記載なし

11. Abstractor のコメント

ランダム化比較試験の根拠となる方法、対象が詳細に記載されていない。タイトルの咳嗽改善効果も、タイトル以外には全く記載されていない。風邪症候群の経過は短期であり、過去 15 年間そして現在もランダム化比較試験を続ける意味が不明である。

12. Abstractor and date

藤澤道夫 2009.2.22, 2010.6.1